

# スポーツと精神障害

スポーツはルールに基づいて  
一人が皆のために、皆が一人のために  
楽しく笑顔で社会参加が一番(^^)!

1

2つの概念⇒健康A精神障害(精神5条機能障害) B「精神障がい者」(精神45条生活障害)2000TT  
3つの領域⇒①保健 ②医療 ③生活・社会福祉(障害者福祉) 労働・教育等  
健康・疾患 ★障がい者「障害者基本法2条」「手帳所持者」

精神保健施策  
・予防  
・治療  
・医学的リハビリテーション

精神障害者福祉施策  
・社会復帰の促進と自立と社会参加の促進のための援助(社会復帰施設、グループホーム、社会適応訓練事業、作業所等)

精神障害概念  
(医学的な障害概念)  
精神疾患を有する者  
(mentally disordered)  
・精神保健福祉法第5条

精神障がい概念  
(生活能力に着目した障がい概念)  
精神障がい(精神疾患)で、障害及び社会的障壁で継続的に日常生活・社会生活に相当な制限を受ける(mentally disabled)  
・障害者基本法第2条

① 健康者  
② 精神疾患を有する者  
③ 精神障がいがあるため長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者

対象の範囲  
精神保健の対象者  
精神障がいの医療の対象者  
精神障がい者福祉の対象者

(図：精神保健福祉法第5条より一部修正)

2

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律  
⇒第5条精神障害(精神疾患)  
⇒第45条手帳制度[精神障害者](障害者基本法：第2条障害者)

心のメンタルヘルス  
0健康増進 1半健康 A精神疾患:精神障害  
・健常 不眠・認知ゆがみ A-1 自立支援医療  
・記憶障害 身体・脳機能障害 B生活障がい  
・精神保健 精神医療 精神障害者  
・1次予防 2次予防 3次予防精神手帳所持  
・次世代予防・0次予防(環境改善) 社会福祉

3

## 精神障害と精神障がい者：解説 高畑(2000)

A 精神障害 (疾患:脳の機能障害:医療・保健領域)  
精神保健福祉法:第5条 mentally disordered  
- 精神障害者は、統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害者、精神病質者その他の精神疾患を有する者  
\* 自立支援医療(隙間のない支援・通院医療)

B 精神障がい者は精神障害者の一部で生活能力障害(社会福祉・障がい者福祉)  
精神保健福祉法:第45条………障害者基本法第2条  
主に統合失調症・うつ病、知的障害を除く  
自ら申請して精神障害者保健福祉手帳の所持者 mentally disabled  
- 手帳は2年間 = 状態が変化して良くなる人・悪くなる人もいる

4

★ICF 国際生活機能分類 疾患(医療) 障がい者(手帳) 社会福祉:生活障害

2001加筆 高畑

健康状態 Health condition  
心身機能・構造 Body Functions & Structure  
活動 (Activity)  
参加 (Participation)  
環境因子 (Environmental Factors)  
個人因子 (Personal Factors)

5

## 精神保健福祉法:ICFからの理解

精神保健 及び 精神障害者福祉に関する法律  
精神障害(疾患・医療/保健:脳の機能障害)・生活障害者(社会福祉)

(高畑1999)

法律:	精神衛生法 1950 s25	精神衛生法改正 1965 s40	精神保健法 1988 s 63	精神保健福祉法 1995 h 7	2000 h12
在宅監置 病者	入院医療 保護政策 隔離	社会復帰(就労) 保健活動、外来	リハビリ、地域援助 福祉施設	福祉対象「手帳」 障害者 本人中心 生活援助	自立生活支援
「ICF」	健康状態 変調/病気	心身機能	活動	社会参加 環境因	個人因
	Health condition (disorder or disease)	Body Functions & Structure	Activity	Participation Environmental Factors	Personal Factors

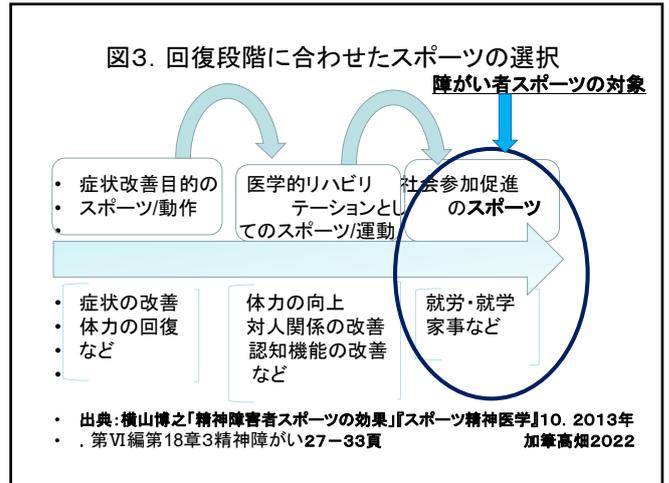
6

### 精神障害者保健福祉手帳

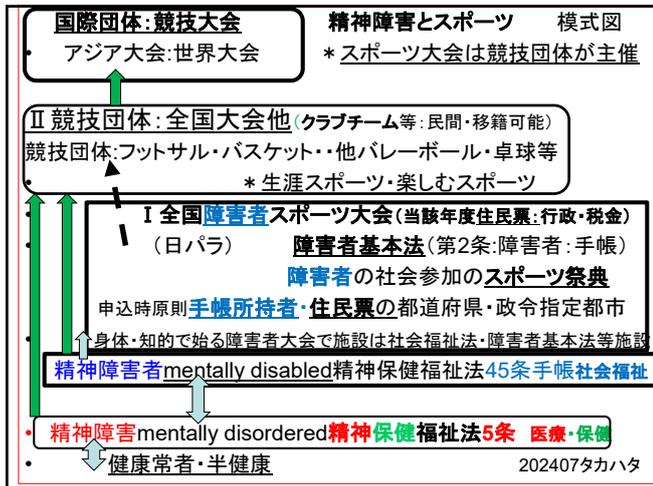
障害等級	精神障害の状態
1級	日常生活の用を弁ずることを <b>不能ならしめる</b> 程度のもの
2級	日常生活が著しく <b>制限をうける</b> か、又は日常生活に著しい <b>制限を加える</b> ことを必要とする程度のもの
3級	日常生活若しくは <b>社会生活が制限をうける</b> か、又は日常生活若しくは社会生活に <b>制限を加える</b> ことを必要とする程度のもの

手帳の生活障害は、社会との関係性(本人側と社会側)

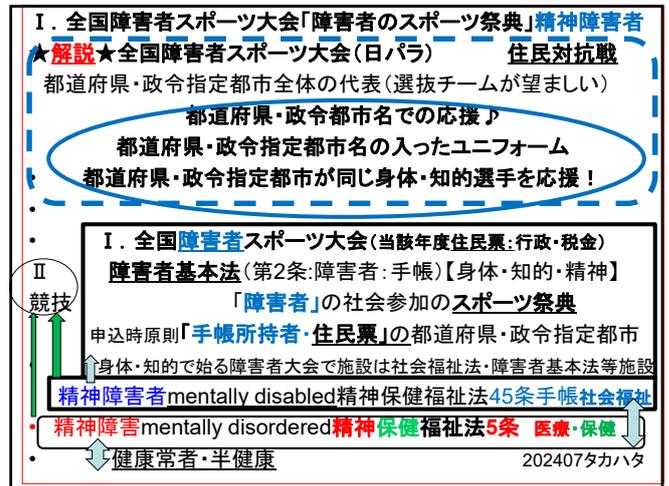
7



8



9



10

### 全国障害者スポーツ大会の経過

- 1949年身体障害者福祉法: 身体障害者手帳制度「身体障害者」
- 1973年療育手帳制度「知的障害者」1960年知的障害者福祉法(精神薄弱者福祉法)
- 1947年身体障害者スポーツ大会 = 身体障害者スポーツ協会
- 1992年ゆうあいびつ(全国知的的障害者スポーツ大会) = 知的障害者スポーツ協会
- 1998年頃「日本障害者スポーツ協会」設立(現: 日本パラスポーツ協会) = 身体障害者スポーツ大会と知的障害者スポーツ大会を統合して = 全スポ大会へ
- 2001年宮城県第1回全国障害者スポーツ大会 (全スポ = 日パラ協会: 精神障害は関連行事でバレーボール大会)
- 2002年第2回全スポ: 高知県大会: オープン競技バレーボール精神障害(ソフト球) ⇒ その後も全スポ大会各県でオープン競技開催
- 2008年第8回全スポ大分県大会 団体競技バレーボール(身体・知的に加えて精神が正式種目 (6ブロック予選会後に全スポへ))
- 2019年第19回茨城県大会: 個人競技・卓球 (身体・知的に加えて精神が正式に (各都道府県・政令市から男女精神各1名))

11

### 全国障害者スポーツ大会の趣旨と目的

- 全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が、障害者のスポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じて、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与する。
- \* 全国障害者スポーツ大会競技規則集より抜粋
- 日本パラスポーツ協会ホームページ等の参照を
- 選手は障害者手帳の所持者(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)で、各都道府県・政令市の代表選手として参加します。(住民票が原則、施設は社会福祉法障害者基本法の障害者関連施設)
- \* 全スポは日パラ・自治体・競技団体等と大会を担い開催します

12

## 全スポ競技と種目

全スポ大会は、全14種目(個人7種目、団体7種目)、選手団は5000人(身体1200人、知的1200人)

精神障害者保健福祉手帳所持者は、100万人を超えている。

精神障害者は、個人卓球、団体バレーボールの2種目で150人程度の参加!

- 陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ポッチャ、バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、サッカー、フットソフトボール
- \*各競技は障害別の競技団体がある。精神は競技団体が無く種目参加している⇒**競技団体づくりが急務(精神バレーボール協会・卓球協会)**
- \*スポーツはルールを守り、競技団体が大会を実施します。

13

**国際団体: 競技大会**  
アジア大会: 世界大会

**II. スポーツ団体とスポーツ大会**  
**【精神障害(疾患)】**  
大会は競技団体があつての開催

**競技団体: 全国大会他** (クラブチーム等: 民間・移籍可能)  
**競技団体:** フットサル・バスケット・他バレーボール・卓球等  
\* 生涯スポーツ・楽しむスポーツ

★**解説**★ 一般的なスポーツ団体のスポーツ大会  
クラブチーム等の大会  
クラブ名等で応援  
ユニフォームはクラブ名等

各クラブは競技団体を担います

精神障害 mentally disordered **精神保健福祉法5条 医療・保健**  
健康常者・半健康

202407タカハタ

14

## II. スポーツ団体とスポーツ大会・精神障害

### 1. 日本ソーシャルフットボール協会 JSFA

- 日本ソーシャルフットボール協会
- 各地団体が各種スポーツ大会
- 全国大会
- 国際大会: イタリア、イングランド、デンマーク、ドイツ、アルゼンチン、ペルー、韓国等
- 選手はF2.F3を主要疾患と想定
- \* 日本障がい者サッカー連盟の一員



日本アンブレティサッカー協会 切断障がい  
日本CPサッカー協会 脳性麻痺  
日本ソーシャルフットボール協会 精神障がい  
日本知的障がい者サッカー連盟 知的障がい  
日本電動車椅子サッカー協会 電動車椅子  
日本ブラインドサッカー協会 視覚障がい  
日本ろう者サッカー協会 聴覚障がい

15

## 2. NPO法人日本ソーシャルバスケットボール協会 (以下、JSBA)

日本における精神障がい者を対象としたバスケットボール競技を統括し代表する団体です。

精神障がい者バスケットボール競技の普及・振興をるとともに精神障がい者を有する方の健全な心身の養成と社会参加および社会の理解を促進し、バリアフリー社会の実現に寄与することを目的に活動しています

- 全国でバスケットボール大会・ラウンドを開催
- 外国・アジアとの交流・台湾で大会

16

## 3 その他: スポーツ団体と大会

- ① **バレーボール** (全スポ競技種目)
- 各地で **オープン競技大会** の開催  
名古屋・東京・九州・埼玉・福井等  
例: 「ドリームマッチ」  
⇒ 全国組織づくり(準備)が急務  
全国組織が全国競技大会をアジアとの交流に向け  
案; 韓国と交流など
- ② **卓球** など多様な種目の競技団体の組織化で大会開催を

17

## 4 日本スポーツ精神医学会

- ① スポーツの精神医学への応用
- ② 精神医学のスポーツへの応用
- を2本柱に
- ③ 身体運動と脳機能の基礎的研究を組み入れた
- 三本柱でスポーツと精神医学の関係を包括的に捉えて活動している。
- 年1回学術大会を開催
- 学会誌と「スポーツ精神医学」を出版

18